

調査報告

平成 30 年度教育実践専攻（修士課程）における修学に関するアンケート結果報告

教育学研究科教育実践専攻運営委員会
尾島 司郎, 金光 真理子, 鈴木 雅之

1. 目的

教育学研究科教育実践専攻（修士課程）で 1 年間就学した在校生と修了予定者を対象に、本専攻に入学した目的や授業等についての満足度や修了後の進路についてなど、修学に関するアンケートを実施した。

本専攻のカリキュラム編成や授業内容の充実・改善等に役立てること、およびこの調査結果を開示することによって、本専攻に関心をもった学部学生や現職教員などに本専攻の特色等について広く情報提供をすることを目的とする。なお、過去との比較のため内容や執筆スタイルは極力前年度を踏襲してある。

2. 方法

2.1. 対象者

平成 30 年度末に教育学研究科教育実践専攻在籍中の 1 年次生および修了予定者を対象とした。1 年次生 88 名、修了予定者 87 名から回答を得た。

2.2. 調査用紙

2.2.1. 1 年次生への調査項目

以下の項目について回答を得た。

- ①所属コース・専門領域・学籍番号・氏名
- ②入学前の本専攻に関する情報の入手経路
- ③入学前に取得していた教員免許状
- ④大学院在学中に取得を目指している教員免許状（専修免許状をのぞく）
- ⑤本専攻に入学した目的
- ⑥授業内容への満足度とその理由
- ⑦修了後の希望職種（学校教員希望の場合、学校種と採用試験受験地域も）

また、質問紙については本稿末に掲載している。

2.2.2. 修了予定者への調査項目

- ①所属コース・専門領域・学籍番号・氏名
- ②大学院在学中に取得した教員免許状

③本専攻における修学への満足度

④本専攻のカリキュラムと授業内容についての満足度とその理由

⑤「教育インターン」に意義があったかとその理由

⑥修了後の進路（学校の教員の場合学校種・採用地域・雇用形態も）

また、質問紙については本稿末に掲載している。

3. 結果

3.1. 入学目的について

1 年次生の教育実践専攻への入学目的は「教員免許状や専修免許状、臨床心理士等の資格の取得」53% (47 名)、「教科の内容に関する学術的な知識や理論の修得」86% (76 名)、「教科に固有な指導法・教材開発の方法の修得」51% (45 名)、「学級経営や学校経営に関する知識・方法の修得」18% (16 名)、「学校現場で発生する多様な問題に対応できる実践力の養成」38% (33 名)、「その他」3% (3 名)であった（図 1）。「その他」を除いた 5 項目で χ^2 検定を行った結果($\chi^2(4) = 45.31, p < .01$)、有意な偏りが認められた。

ライオン法による多重比較の結果、「教科の内容に関する学術的な知識や理論の修得」が、その他の入学目的よりも多かった。また、「教員免許状や専修免許状、臨床心理士等の資格の取得」を目的とした学生は「学級経営や学校経営に関する知識・方法の修得」を目的とした学生よりも多く、「教科に固有な指導法・教材開発の方法の修得」を目的とした学生は「学級経営や学校経営に関する知識・方法の修得」を目的とした学生よりも多かった。

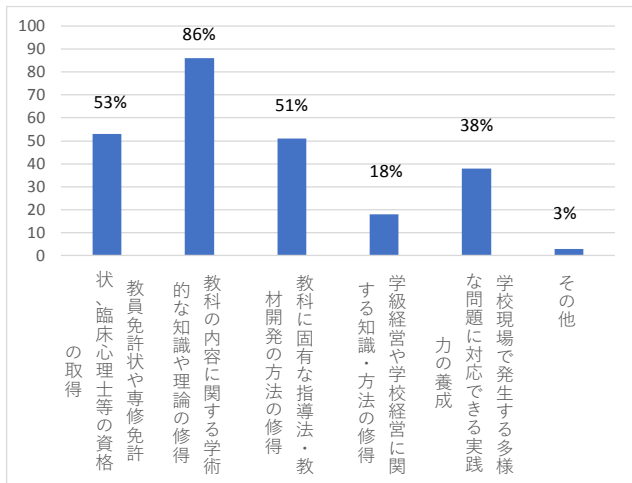


図 1 入学の目的

3.2. 入学前の専攻に関する情報の入手経路について

1 年次生の入学前の本専攻に関する情報の入手経路は、「大学のウェブサイト」58% (51 名)、「大学発行のリーフレット」7% (6 名)、「本学の教育学研究科説明会」41% (36 名)、「募集要項」43% (38 名)、「本学の教員」33% (29 名)、「勤務先の学校長」1% (1 名)、「本研究科の在学生・修了生」34% (30 名)、「その他」10% (9 名)であった (図 2)。「その他」を除いた 7 項目の度数を用いて χ^2 検定を行った結果 ($\chi^2(6) = 69.89, p < .01$)、有意な偏りが認められた。

多重比較の結果、「大学発行のリーフレット」「勤務先の学校長」から情報を得た人数が有意に少なかった。

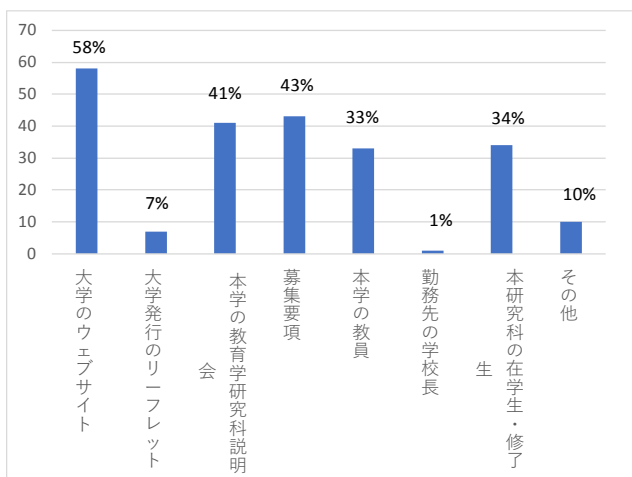


図 2 情報の入手経路

3.3. 教員免許状についての調査

1 年次生のうち、入学時にすでに 1 つ以上の教員免許状を取得している学生は全体の 69% (61 名) であった。

教員免許状等の種類別にみると、「小学校」43% (38 名)、「中学校」57% (50 名)、「高等学校」56% (49 名)、「特別支援学校」6% (5 名)、「養護」0% (0 名)、「その他」7% (6 名) の学生が該当する教員免許状を取得済みであった (図 3)。

大学院在学中に (専修免許ではなく) 新たに 1 種または 2 種免許状の取得を目指している学生は「小学校」1% (1 名)、「中学校」14% (12 名)、「高等学校」11% (10 名)、「特別支援学校」0% (0 名) であった。

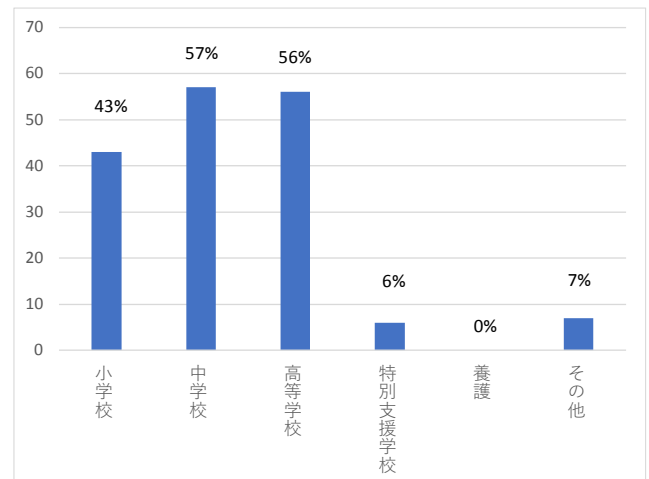


図 3 1 年次生の教員免許状所持率

在学中に新たに教員免許状を取得した修了予定者は 57% (50 名) であり、専修免許状を取得したのは 51% (44 名) であった。内訳は「小学校専修」17% (15 名)、「小学校 1 種」1% (1 名)、「中学校専修」47% (41 名)、「中学校 1 種」5% (4 名)、「高等学校専修」46% (40 名)、「高等学校 1 種」3% (3 名)、「特別支援学校専修」3% (3 名)、「特別支援学校 1 種」2% (2 名) であった (図 4)。

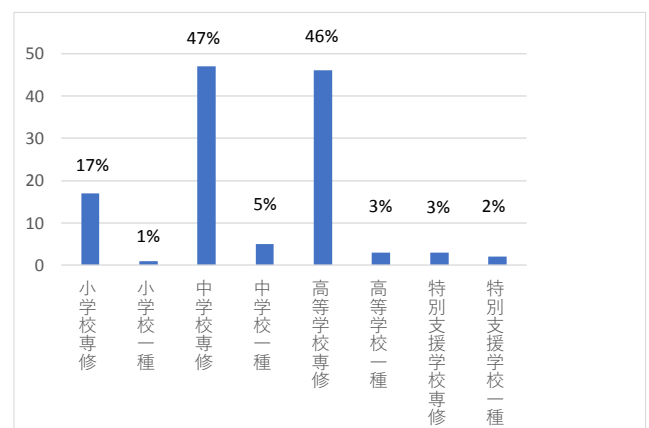


図 4 在学中の教員免許状取得率

3.4. 授業への満足度

1 年次生の授業への満足度は、「満足している」66%（56 名）、「どちらかといえば満足している」28%（24 名）、「どちらかといえば満足していない」6%（5 名）、「満足していない」0%（0 名）であった（図 5）。満足した理由として、大学院ならではの専門的で深い学び、他領域も含めた幅広い学び、現場につながる実践的な学び、理論と実践の融合、議論や学び合いを用いた学生主体の授業、大学教員からの手厚いサポートなどが挙げられていた。

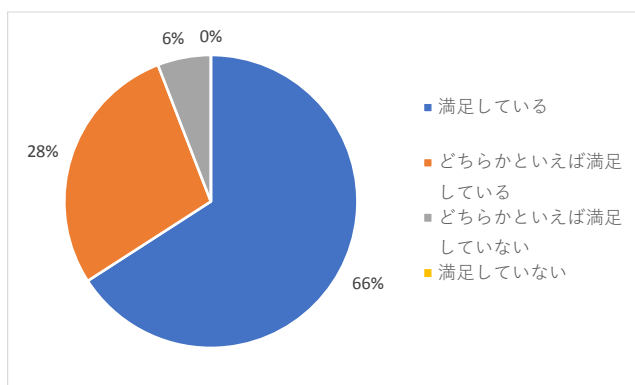


図 5 1 年次生の授業への満足度

修了予定者の教育学研究科教育実践専攻における修学に対する満足度は、「満足している」83%（71 名）、「どちらかといえば満足している」13%（11 名）、「どちらかといえば満足していない」1%（1 名）、「満足していない」4%（3 名）であった（図 6）。

修了予定者の教育実践専攻のカリキュラムと授業内容に対する満足度は、「満足している」74%（64 名）、「どちらかといえば満足している」20%（17 名）、「どちらかといえば満足していない」2%（2 名）、「満足していない」4%（3 名）であった（図 7）。

満足している理由は、上述の 1 年次生の授業への満足度とほとんど共通している。加えて修了予定者からは、研究・論文作成の有益さ、学びの自由度の高さも挙げられていた。満足していない理由の自由記述はほぼなく、一般化は難しい。

修了予定者の修学に対する満足度とカリキュラムと授業内容に対する満足度との相関係数は.86 であり、1%有意水準で有意な相関が認められた。

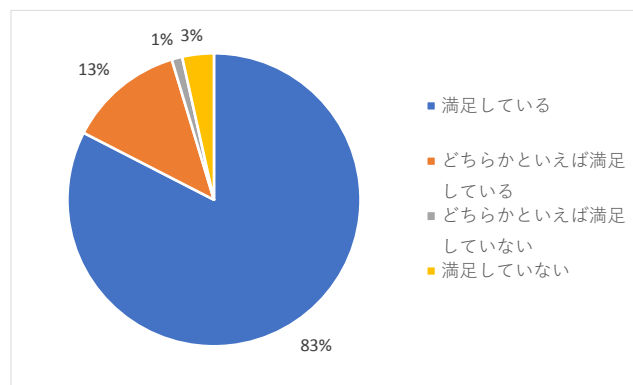


図 6 修学に対する満足度

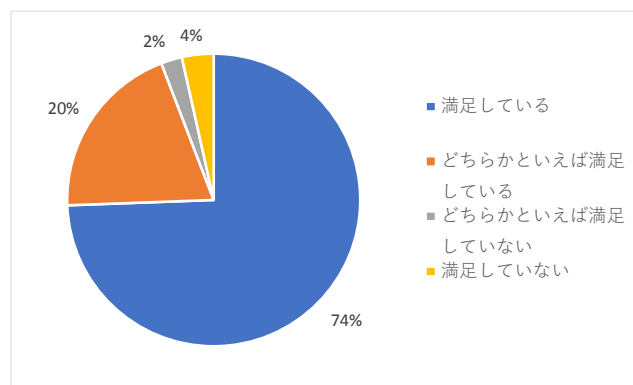


図 7 カリキュラムと授業内容への満足度

3.5. 「教育インターン」の意義について

修了予定者に本専攻の必修科目である「教育インターン」の意義について尋ねたところ、「意義があった」63%（52 名）「どちらかといえば意義があった」24%（20 名）「どちらかといえば意義がなかった」11%（9 名）「意義がなかった」2%（2 名）であった（図 8）。

意義を感じた理由として、実際の教育現場を知れた点と修論の研究につながった点が圧倒的に多く挙げられていた。関連して、学問と教育実践を結び付けられた点も散見された。意義を感じなかった理由として、研究との関連を明確にせず実施してしまったなど自分の準備不足や、インターン先の選択ミスなどが挙げられていた。

教育インターンの意義を感じているかと、3.4.で報告した授業への満足度との相関係数を算出すると、修学に対する満足度との相関係数は.47、カリキュラムと授業内容に対する満足度との相関係数は.54 であり、いずれも 1%有意水準で有意な相関が認められた。

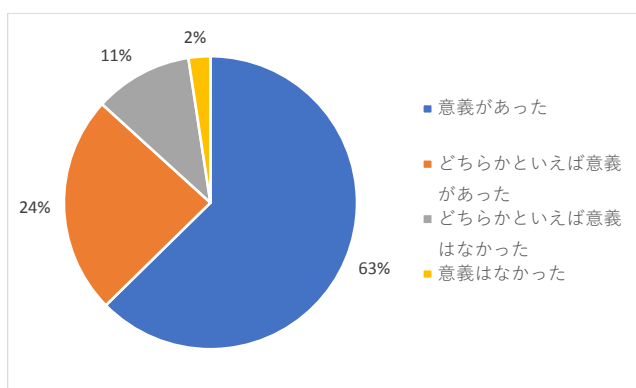


図 8 教育インターンの意義について

表 1 相関係数(** $p < .01$)

	I	II	III
III 修学満足度	1.00**		
III カリキュラム満足度	.86**	1.00**	
III インターンへの意義	.47**	.54**	1.00**

3.6. 卒業後の進路について

3.6.1. 1 年次生の希望進路

現職の教員を除く 68 名の 1 年次生の修了後の希望職種（複数回答あり）は、「学校の教員」65%（44 名）「地方公務員（教員以外）」3%（2 名）「国家公務員（教員以外）」4%（3 名）「教育関連の企業（塾、予備校など）」21%（14 名）「教育関連以外の企業」21%（14 名）「自営業」1%（1 名）「博士課程進学」12%（8 名）「その他」13%（9 名）であった（図 9）。

「学校の教員」を選んだ 44 名の希望する学校種（複数回答あり）は、「小学校」27%（12 名）「中学校」30%（13 名）「高等学校」48%（21 名）「特別支援学校」0%（0 名）「その他」2%（1 名）であった（図 10）。また、公立・私立の別（複数回答あり）では、44 名中 40 名（91%）が公立を、5 名（11%）が私立を選んでいる。公立の希望地域に関しては、「神奈川県」27%（12 名）「横浜市」23%（10 名）「川崎市」9%（4 名）「相模原市」0%（0 名）「東京都」9%（4 名）「その他地域」20%（9 名）だった。

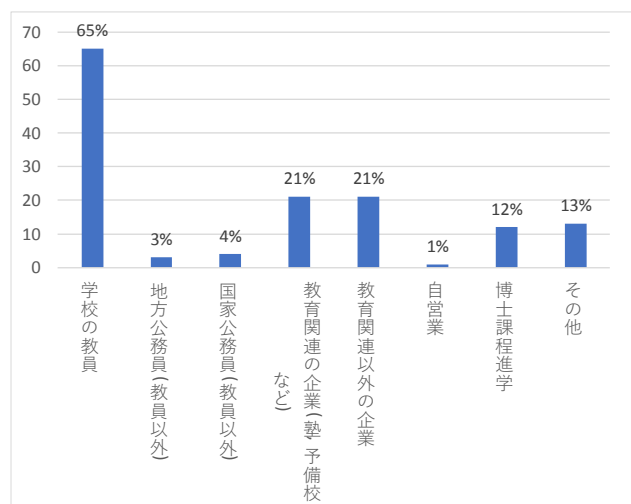


図 9 1 年次生の進路希望

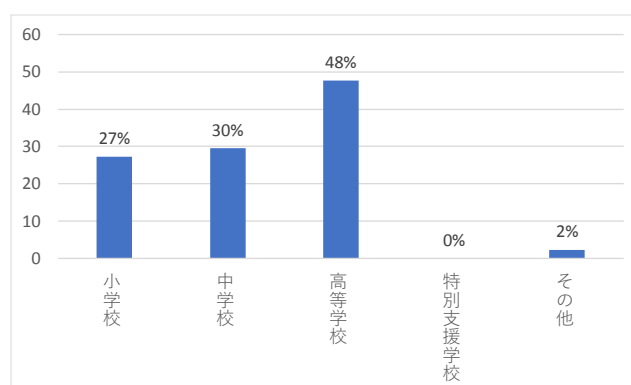


図 10 希望する学校種

3.6.2. 修了予定者の進路

現職の教員を除く 71 名の修了生の卒業後の進路（複数回答あり）について、「学校の教員」55%（39 名）「地方公務員（教員以外）」4%（3 名）「国家公務員（教員以外）」1%（1 名）「教育関連の企業（塾、予備校など）」7%（5 名）「教育関連以外の企業」17%（12 名）「自営業」1%（1 名）「博士課程進学」4%（3 名）、「その他」11%（8 名）であった（図 11）。

「学校の教員」として就職予定 39 名の学校種は、「小学校」21%（8 名）「中学校」36%（14 名）「高等学校」31%（12 名）「特別支援学校」10%（4 名）「その他」8%（3 名）であった（中高一貫と思われる 2 つのケースは中高の両方に数えた）（図 12）。公立・私立の別では、72%（28 名）が公立、28%（11 名）が私立だった。公立の採用地域は、「神奈川県」21%（6 名）「横浜市」25%（7 名）「川崎市」11%（3 名）「相模原市」0%（0 名）「東京都」14%（4 名）「その他」29%（8 名）だった。雇用形態については、「常勤」77%（30 名）「臨時的任用」15%（6 名）「非常勤」8%（3 名）であった。

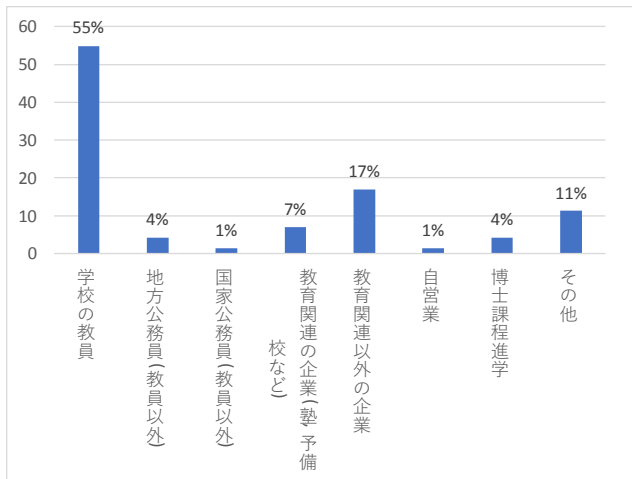


図 11 修了予定者の進路

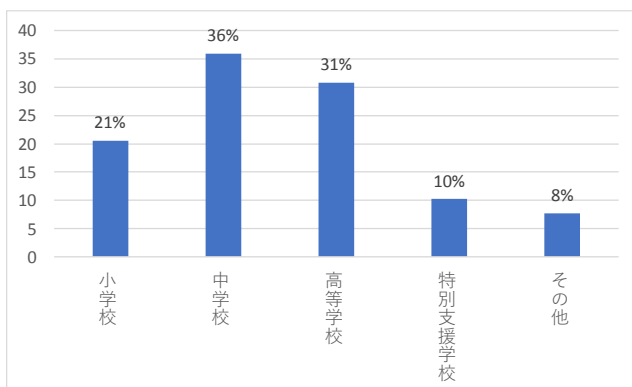


図 12 教員就職者の学校種

4. 考察

1 年次生の教育学研究科教育実践専攻への入学目的は、前年度と非常に似た傾向であり、教科の内容に関する知識や理論の獲得が最も多い。資格獲得、指導法・教材開発方法の修得、実践力の養成が続くが、現在の教職大学院が対象とする学級経営や学校経営に関する知識・方法の習得を選んだ 1 年次生は多くなく、今年度も教科教育の専門性の向上が入学者に期待されていることが伺える。

専攻に関する情報の入手経路も、前年度とほぼ同じ傾向であり、大学のウェブサイトが突出して多く、説明会、募集要項、本学の教員、研究科在学生・修了生が続く。ウェブサイトを通じた情報発信を強化していくことが受験者獲得に有効だと考えられる。ウェブの有効性を鑑み、SNS を通じた広報も検討すべき時期かもしれない。

1 年次生の入学前の教員免許取得状況も前年度と非常に似ている。すなわち、一つでも教員免許を取得していた割合は約 7 割であり、4 割程度が小学校免許を、6 割程度が中学・高校の免許を取得済である。多くの場合、

より専門性を高めようとしているのが伺える。また、大学院在学中に専修免許ではなく新たに 1 種免・2 種免の取得を目指している 1 年次生の割合は中高で 1 割程度、小学校と特別支援ではほぼゼロであり、本専攻の学生は、新たな専門ではなく自分の専門の中で学びを深めることを目指していると言える。

修了予定者の半数が在学中に専修免許状を取得したと回答している。中高での専修免許取得が一番多く、次いで小学校という傾向は前年度と同じだが、前年度よりも中高での専修免許取得の割合は 15% 程度増えている。これは大幅に増えたというよりは、前年度が少なかつただけで、元に戻ったという解釈が妥当かもしれない。いずれにせよ、本専攻が多くの学生の入学目的である「教員免許状や専修免許状等の資格の取得」を達成させ、「教職の高度化」という役割を十分果たしている点は、前年に引き続き確認された。

授業・カリキュラムについて、1 年次生・修了予定者ともに 94% 程度が満足していた。様々な領域から広く学べる点、理論と実践の往還、学生主体の授業などが高評価につながっている。前年度も 9 割以上が満足していたことを考えると、本専攻の授業・カリキュラムが安定して学生から評価されていることが分かる。

修了後の希望職種については、現職教員を除く 1 年次生の約 3 人に 2 人は「学校の教員」を回答に含めている（複数回答あり）。職種は高等学校が最も多く、中学校・小学校が続いている。また、公立の希望地域に関しては、神奈川県と横浜市の二つで約半分を占め、川崎市と東京都が続くことから、多くが神奈川県内もしくは近隣での就職を希望している。

また、現職の教員を除く修了予定生の進路は、前年度同様、半数強が「学校の教員」である。職種は、前年度は小中高ではほぼ同じだったが、今回は中高でそれぞれ 3 割、小学校が 2 割程度と、中高が多くなっている。採用地域について公立の場合、神奈川県・横浜市・川崎市で 6 割程度を占めているのは昨年と同様である。1 年次生の就職希望地域と合わせて考えても、本専攻は神奈川県の教員養成に貢献していると解釈できる。

5. 結論

前年度から引き続き、本専攻は学生に高い満足度の学修機会を提供できており、学問的に深い学び、複数の領域にまたがる幅広い学び、教育インターンに代表される

平成 30 年度教育実践専攻（修士課程）における修学に関するアンケート結果報告

現場での経験、学生主体の授業、教育実践につながる研究などを通して、学生は高い専門性と実践力を身に付け、その多くが近隣地域の教員を目指し、実際に教員として就職できている現状が明らかになった。このことから、

本専攻は学生の期待に応え、高度な教員の養成を通して地域の教育に貢献できていると言える。

平成 31 年 3 月 22 日

教育実践専攻における修学に関するアンケート（1 年次生）

横浜国立大学大学院教育学研究科教育実践専攻運営委員会

本アンケートの目的は、教育学研究科教育実践専攻に 1 年間修学された在學生について、本専攻に入学した目的や修了後の進路希望、授業等についての満足度について調査することで、本専攻のカリキュラム編成や授業内容の充実・改善等に役立てること、また、この調査結果を開示することによって、本専攻に関心をもった学部学生や現職教員などに本専攻の特色等について広く情報提供をすることにあります。

なお、追跡調査の必要から、学籍番号と氏名を記入していただきますが、本アンケートで得られた個人に関する情報は教育実践専攻運営委員会において適切に管理され、第三者に提供されることは一切ありません。

所属コース	専門領域/専修	学籍番号	氏名
コース			

【A】あなたは、入学前に本研究科の教育実践専攻の情報をどこから入手しましたか？ 下記の中から当てはまる番号すべてを 内にお書きください。8) については、() 内に具体的にお書きください。



- 1)大学のウェブサイト 2)大学発行のリーフレット 3)本学の教育学研究科説明会
 4)募集要項 5)本学の教員 6)勤務先の学校長 7)本研究科の在學生・修了者
 8)その他 ()

【B】あなたが、入学前にすでに取得していた教員免許状等の種類を、以下の枠内の該当欄にすべてご記入ください。（「種/級」の記入欄については、「種」「級」のどちらかを削除してください。）

小学校	()種/級	中学校	()種/級	教科 () () ()
特別支援学校 ()	()種/級	高等学校	()種/級	教科 () () ()
養 護	()種/級	そ の 他		

【C】あなたが、大学院在学中に取得をめざしている教員免許状（専修免許状を除く）等がありましたら、以下の枠内の該当欄にすべてご記入ください。（「種/級」の記入欄については、「種」「級」のどちらかを削除してください。）

小学校	()種/級	中学校	()種/級	教科 () () ()
特別支援学校 ()	()種/級	高等学校	()種/級	教科 () () ()
養 護	()種/級	そ の 他		

【D】あなたが、本専攻に入学した目的をお答えください。下記（裏面）の中から当てはまる番号すべてを 内にお書きください。6) については、() 内に具体的にお書きください。



裏へ

平成 30 年度教育実践専攻（修士課程）における修学に関するアンケート結果報告

- 1) 教員免許状や専修免許状、臨床心理士等の資格の取得
- 2) 教科の内容に関する学術的な知識や理論の修得
- 3) 教科に固有な指導法・教材開発の方法の修得
- 4) 学級経営や学校経営に関する知識・方法の修得
- 5) 学校現場で発生する多様な問題に対応できる実践力の養成
- 6) その他 ()

【E-1】あなたが1年次に履修した授業の内容について、満足できましたか？ 下記の中から最も当てはまる番号1つを 内にお書きください。

➡

- 1) 満足している
- 2) どちらかといえば満足している
- 3) どちらかといえば満足していない
- 4) 満足していない

【E-2】5-1 で 1) または 2) と回答された方にお尋ねします。どのような点で満足できましたか？ 以下の枠内に自由にお書きください。

【E-3】5-1 で 3) または 4) と回答された方にお尋ねします。どのような点で満足できませんでしたか？ 以下の枠内に自由にお書きください。

※ 以下の質問は、教員及び教育関連職の在職者以外の方

【F-1】現時点で、修了後に希望する職種は何ですか？ 以下の中の当てはまる番号すべてを内にお書きください。8)については、() 内に具体的にお書きください。

➡

- 1) 学校の教員
- 2) 地方公務員（教員以外）
- 3) 国家公務員（教員以外）
- 4) 教育関連の企業（塾、予備校など）
- 5) 教育関連以外の企業
- 6) 自営業
- 7) 博士課程進学
- 8) その他 ()

【F-2】F-1 で、1) の「学校の教員」を選択された方にお尋ねします。教員として就職する場合の希望する 1. 学校種と 2. 採用試験の受験地域について、現時点で最もよく当てはまるものの番号を下記の中から選択し、 内にお書きください。1. の 5)、2. の 6) と 8) については、() 内に具体的にお書きください。

➡

1.		2.	
----	--	----	--

1. 学校種
 - 1) 小学校
 - 2) 中学校
 - 3) 高等学校
 - 4) 特別支援学校
 - 5) その他 ()
2. 受験地域
 - 公立：
 - 1) 神奈川県
 - 2) 横浜市
 - 3) 川崎市
 - 4) 相模原市
 - 5) 東京都
 - 6) その他 () 道・府・県
 - 7) 未定
 - 私立：8) (地域名：) 9) 未定

ご回答、ありがとうございました。

平成 31 年 3 月 22 日

教育実践専攻における修学に関するアンケート（修了予定者）

横浜国立大学大学院教育学研究科教育実践専攻運営委員会

本アンケートの目的は、教育学研究科教育実践専攻の修了予定者について、授業等についての満足度や修了後の進路について調査することで、本専攻のカリキュラム編成や授業内容の充実・改善等に役立てること、また、この調査結果を開示することによって、本専攻に関心をもった学部学生や現職教員などに本専攻の特色等について広く情報提供をすることにあります。

なお、追跡調査の必要から、学籍番号と氏名を記入していただきますが、本アンケートで得られた個人に関する情報は教育実践専攻運営委員会において適切に管理され、第三者に提供されることは一切ありません。

所属コース	専門領域/専修	学籍番号	氏名
コース			

【A】あなたが、大学院在学中に取得した教員免許状等がありましたら、以下の枠内の該当欄にすべてご記入ください。（「種/級」の記入欄については、「種」「級」のどちらかを削除してください。）

小学校	()種/級	中学校	()種/級	教科 () () ()
特別支援学校 ()	()種/級	高等学校	()種/級	教科 () () ()
養護	()種/級	その他		

【B】あなたは、総じて、教育学研究科教育実践専攻における修学に、満足できましたか？

下記の中から最も当てはまる番号1つを 内にお書きください。 ➡

- 1) 満足している 2) どちらかといえば満足している
3) どちらかといえば満足していない 4) 満足していない

【C-1】あなたは、教育実践専攻のカリキュラムと授業内容について、満足できましたか？

下記の中から最も当てはまる番号1つを 内にお書きください。 ➡

- 1) 満足している 2) どちらかといえば満足している
3) どちらかといえば満足していない 4) 満足していない

【C-2】C-1 で 1)または 2)と回答された方にお尋ねします。どのような点で満足できましたか？
以下の枠内に自由にお書きください。

【C-3】C-1 で 3)または 4)と回答された方にお尋ねします。どのような点で満足できませんでしたか？ 以下の枠内に自由にお書きください。

裏へ

【D-1】教育現場と大学の往還による実践的研究の深化を目的とする必修科目「教育インターン」はあなたにとって意義がありましたか？ 下記の中から最も当てはまる番号1つを

内にお書きください。



- 1) 意義があった 2) どちらかといえば意義があった
3) どちらかといえば意義はなかった 4) 意義はなかった

【D-2】C-1 で 1)または 2)と回答された方にお尋ねします。どのような点に意義があったと思いますか？ 以下の枠内に自由にお書きください。

【D-3】C-1 で 3)または 4)と回答された方にお尋ねします。どのような点で意義がなかったと思いますか？ 以下の枠内に自由にお書きください。

※ 以下の質問は、教員及び教育関連職の在職者以外の方に回答をお願いします。

【E-1】あなたの修了後の進路について、以下の中から当てはまる番号を内にお書きください。8)については、()内に具体的にお書きください。



- 1) 学校の教員 2) 地方公務員（教員以外） 3) 国家公務員（教員以外）
4) 教育関連の企業（塾、予備校など） 5) 教育関連以外の企業 6) 自営業
7) 博士課程進学 8) その他 ()

【E-2】E-1 で、1)の「学校の教員」と書かれた方にお尋ねします。1. 学校種、2. 採用地域、3. 雇用形態について、下記の中から選択して、その番号を内にお書きください。1.の 5)、2.の 6)と 8)については、()内に具体的にお書きください。



1.		2.		3.	
----	--	----	--	----	--

1. 学校種
1) 小学校 2) 中学校 3) 高等学校 4) 特別支援学校 5) その他 ()
2. 受験地域
○ 公立：1) 神奈川県 2) 横浜市 3) 川崎市 4) 相模原市 5) 東京都
6) その他 (道・府・県)
○ 私立：8) (地域名：)
3. 雇用形態：1) 常勤 2) 臨時的任用 3) 非常勤

ご回答、ありがとうございました。